

⑤倉吉市社会福祉協議会 (倉吉市)

世代や立場を超えて支え合う「地域共生社会」の実現に向け、各分野で取り組みが進む中、住民同士が「つながる」ための橋渡しの役割を担う。地区社協や学校などと連携した事業を進め「誰も孤立させない」地域づくりを目指す。

このうち、中学校の生徒会が主体となって進める地域貢献活動は、清掃活動やレクリエーションを通じて生徒が地域と協同実践を行



地域の住民つなぐ橋渡し

う福祉教育の一環。住民の要な家などの情報を話し合
ほか、小学生や保護者、高
齢者施設も参加し、多世代
防犯などに役立てている。
が交流を深めるよい機会と
なっている。

また、災害時の避難経路
や集落内のつながりを再確
認する「支え愛マップ」も
地域福祉に大きな役割を果
たす。倉吉市では218あ
る自治公民館のうち半数が
実践。危険箇所や支援が必
要な家などの情報を話し合
いながら盛り込み、災害
防犯などに役立てている。
地域福祉課の林原香里課
長は「孤独や孤立が引き起
こす課題は多く、8050
問題や虐待など問題が深刻
化する前に気付き、手だて
を打てる仕組みづくりが大
切。同じ地域に住む人々が
多様性を尊重し合いながら
暮らせるまちが理想。その
ための人と人がつながるま
ちづくりを応援したい」と
力を込める。

話し合いながら「支え愛
マップ」を作る住民ら



「第4回ミラ・クル・と
っとりプラットフォーム交
流会」は28日午後2時から
「絆のチカラで地域は変わ
る」と題してオンライン開
催する。申し込みは電話0
858(24)6460。